

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月1日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		今年度は、コロナ予防の為、指導室を分割しています。児童同士が向かい合わせに並んで密にならないよう、机の配置を行い、狭い中でもフリースペースを作れるよう工夫しています。	今年度は通常は使わない部屋を使って密を避けたりと工夫しましたが、あくまで臨時対応に過ぎないので、今後、長期的な感染症対応を睨み、どんな状況でも対応ができるように検討して参ります。
	2 職員の配置数は適切である	○		基準よりも多く配置しており、直接支援に携わる職員は、保育士と実務経験の長い児童指導員を配置しています。	今後も法令の基準を遵守した上で、利用児童数に合わせて職員を適切に配置できるように努めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		現在、車椅子を使用する児童の受入れはありませんが、室内は段差がなく、安全な環境になっています。	これからも全ての利用児童の活動や支援に支障がないよう、適切な環境を整備してまいります。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的に常勤・非常勤問わず会議に参加し、現状把握と課題解決に向けた話し合いを行っています。	療育に関わる職員全員が参加する会議を行えるよう勤務時間の調整に努め、議事録を作成して情報共有を図るなど、全員参加で取り組んで参ります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的なアンケートの実施や、直接相談出来るよう保護者様へ直通電話をお知らせしています。	ご相談があった場合は職員間で情報共有、対応を検討してまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果は、公式 Web サイトで公開し、またお便り等で保護者様へお知らせしております。	今後も自己評価の結果は、公式 Web サイトで公開し、支援の向上や改善に繋がるよう努めてまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度は他事業所との研修が行えず、社内のオンライン動画などで研修をし、資質の向上に努めています。	今後は当面他事業所や外部との研修はオンライン等を活用し、事態の終息後積極的に研修機会を活用して参ります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシートや家庭連携記録などを参考に課題を発見し、事業所にて課題を分析して、解決策の話し合いを行っています。	今後も保護者様のご意向や、児童の特性を把握した上で作成するように心掛けていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用する書式を統一し、年齢に応じたアセスメントツールを使用しています。	今後も継続してモニタリング時には統一されたチェックシートを活用して状況を把握し、保護者様のご意向を確認してまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		季節や年齢に応じた活動を話し合い、検討しています。	全職員から意見を募り、アイデアを活かした内容を、チームで組み立てて参ります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		平日は基本活動が主となりますが、長期休暇は季節に応じたイベントを企画するよう工夫しています。	年間計画や季節ごとのプログラム、その年の時事なども取り入れるよう工夫して、利用児童に合った活動を心掛けてまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日には連続性の課題を中心とし、長期休暇時は季節に合ったイベントや最大限時間を活用できる課題などを取り入れています。	平日は支援時間が短く着座での学習が中心となりますが、長期休暇中や土曜日等、支援する時間が長い時にしかできない課題に取り組み、利用児童のニーズに合わせてきめ細やかな課題設定を行ってまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童の特性や発達段階、保護者様のニーズ等を総合的に勘案した上で、支援計画を作成しています。	今後も利用児童の状況に応じた支援計画を職員・保護者様と話し合って作成して参ります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日職員ミーティングにて現状把握、課題確認を行っています。	今後も、その日の支援内容について保育士や教職員経験者等の意見を踏まえて話し合い、支援内容・担当の職員を決めてまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は送迎等で参加できない職員が多いため、当日の振り返りは翌日の支援開始までに共有するようにしています。	確実に情報共有できるよう、支援週後のミーティングでも記録をとり、参加できなかった職員へも周知してまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用の都度必ず記録を残し、変化があった内容は共有出来るようにしています。	今後も日々の療育内容は分かりやすく記録に残し、支援の検証や改善がなされるよう努めて参ります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最低でも6ヵ月以内に1度は、必ずモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	今後も保護者様、相談支援員、保育園・学校等、療育に関わる機関との連携を深め、より良い支援計画の作成に努めて参ります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインの総則の基本活動から組み合わせ、直接指導にあたる職員の意見を吸い上げ、統一した支援を行っています。	今後も基本活動を軸に、利用児童が楽しみながら成長できるような支援内容を検討してまいります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	担当者会議に参加する職員は、支援に携わっている職員からの意見や、情報をもとに、細やかな情報提供が出来るように努めてまいります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に直接担任の先生と連絡調整を行ったり、職員へ直通の電話や、メール、FAXも活用しています。	利用予定日や下校時間の変更など、担任の先生と連絡調整を行い、トラブル防止に努めています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索して参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前から弊社児童発達支援を利用していた児童が多く、当所在籍していた事業所からも情報共有が出来ており、状況把握が出来ているので、相互理解に繋がっていると考えています。	今後も継続して保育所や幼稚園などの就学前に児童が利用していた関係機関などは相互に情報共有を行い相互理解に努めて参ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現時点では対象となる児童がいませんが、その時期になった時に適切に対応出来るよう情報の整理をしています。	現在までに卒業した児童はいませんが、適宜進路についての相談や情報提供の準備を整えて参ります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナの影響により連携する機会が減っていますが、適宜、情報収集を行い、オンライン研修等参加可能なものは積極的に受けています。	前年までは専門機関にて講演会等も開催され職員研修に参加していましたが、コロナの影響で開催が難しくなっており、今後の研修については社内の動画研修やオンライン等、参加できる研修を検討してまいります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在、コロナ感染予防の観点から交流は行えておりません。	コロナの流行により交流の機会は控えています。コロナ終息後は、個人情報保護を考慮した上で、機会を検討したいと思います。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○		主に管理者が参加し、議事録を作成して他職員へ情報共有しています。	コロナ予防の為参加を控えていますが、今後はオンライン等参加できるものを確認してまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		事業所で気づいた点と、保護者様のご意向のすり合わせを行い、支援の向上に努めています。	今後も送迎時や電話等連絡しやすい環境を整え、情報交換・共有に努めて参ります。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様が要望された場合には療育見学时に療育に使用した課題や動画の閲覧など行っていました。現在はコロナ予防のため控えています。	定期的なトレーニングの機会を設けるに至っていませんが、これからも相談内容に応じて丁寧に助言を行ってまいります。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		児童発達支援管理責任者が対応し、丁寧な説明を行い、質問事項に答えられるようにしています。	契約時のみならず契約内容の変更があった場合に説明を行って参ります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		職員が直通の電話を所持し、連絡を受けやすいように努めています。	保護者様からの相談内容に応じて様々なキャリアの職員が助言を行い、児童に何が必要かを保護者様と共に検討して参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者様の参観を検討していましたがコロナの影響により保護者様同士の連携が出来る機会は現在企画できておりません。	現在は企画できておりません。また、通所を伏せておきたい保護者様もおられるため、開催については慎重に検討して参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情への対応についてご案内をしており、苦情解決のための会議も随時行えるように役割を決めています。	現在コロナ感染予防の観点から開催は企画できておりません。また、通所を伏せておきたい保護者様もいらっしゃるため、開催については慎重に検討して参ります。
	34 定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		COMPAS だよりの季刊発行の他、ホームページ内において日々の活動内容をブログにて掲載し、保護者様へご案内しています。	ブログでの活動内容の報告や、定期的な COMPAS だよりの発行の継続と内容の充実を図ってまいります。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報は鍵付きの書庫で保管し、守秘義務については職員に周知徹底を図っております。写真掲載等、個人情報確認文書には、都度保護者様へ確認文書を配布し、同意を得ています。	最大限、個人情報の管理については最も厳格な管理を行い、安心してサービスをご利用頂けるように、また、確認文書の回答の徹底し、掲載の機会がある場合はその都度お知らせし、確認を行ってまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性を踏まえて口頭・筆談・メール等あらゆる手段を活用して情報伝達に努めています。	相談窓口を児童発達支援管理責任者に置き、保護者様の悩み相談や助言にスムーズに対応できるようにしてまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	これまでは招待する機会はありませんでした。	事業所では、主に学習支援を行っているため、時間配分に配慮が必要となること、通所を秘匿したいご家庭もある為、保護者様のご意向に沿った内容であれば、検討していきたく思います。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルは分かりやすい場所に掲示・保管し、職員に周知しています。	必要なマニュアルは保護者様も閲覧することが出来る様、掲示場所など検討してまいります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練の記録を写真付きで作成し、訓練に参加出来る職員にも周知し、役割も担当に任せています。	火災・地震・風水害の訓練を2回行っています。不審者情報も発見されることから、防犯対策についても検討していきたいと思っております。
非常時の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		例年は定期的に行われる外部研修に積極的に参加しています。参加した職員は研修記録を作成し、他職員へ情報共有しています。	今後も継続して研修に参加して参ります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		アレルギーについては、契約時等に保護者様へ確認させて頂き、十分注意し児童に関する職員全員が把握出来るよう一覧表を作成・掲示しています。	現在は重篤なアレルギーを持つ児童は在籍していませんが、必要に応じて医師の指示書の提出を求め、十分注意して対応してまいります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在該当者はおりませんが、契約時にアレルギーについての確認は行い、全職員で周知徹底の場所しております。更に職員が見やすい場所に一覧表の掲示をしております。	今後も保護者様より得た情報は職員に周知徹底を図って参ります。
	43 ヒヤリハット事例報告書は事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書は都度作成し、振り返りを行いながら、職員と情報共有しています。	今後もヒヤリハット報告書を全職員で閲覧・確認して報告を防止に努めてまいります。またいつでも確認出来るようファイリングし、保管しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。